

# 長野市SDGs未来都市計画(素案)のパブコメ実施について

## ◆「SDGs未来都市」とは

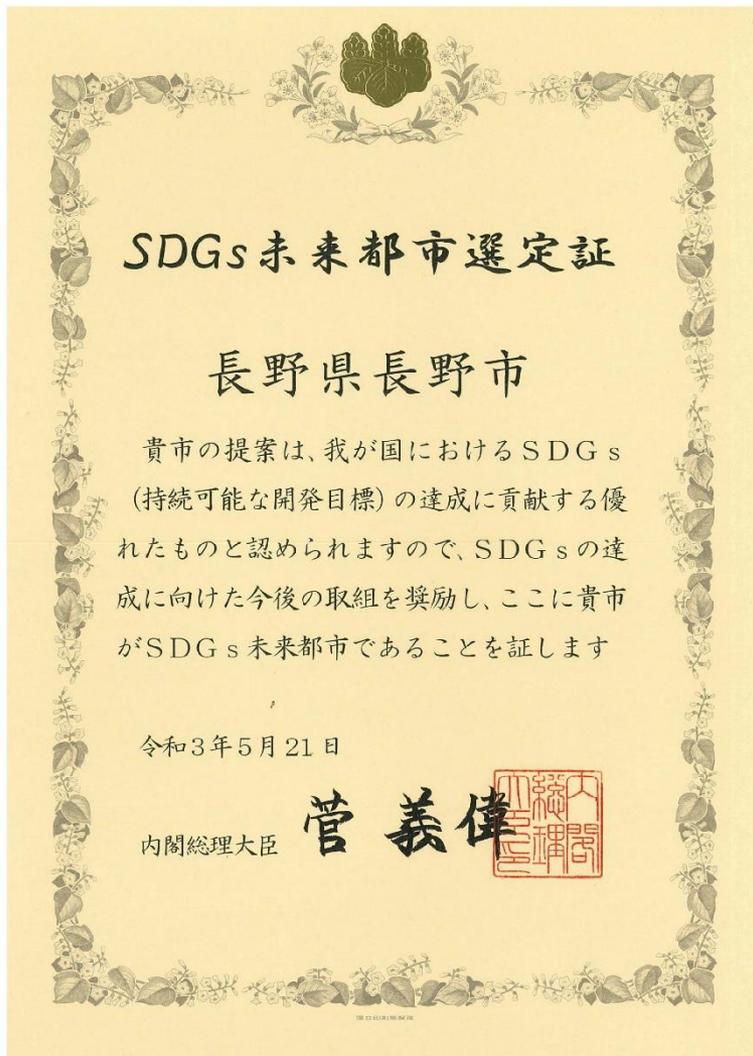
- ・国(内閣府)が、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として、毎年度、30程度選定するもの。
- ・2021年度「SDGs未来都市」には、全国53都市から応募があり、長野県内から長野市及び伊那市が選定(全国で31都市が選定)
- ・既に選定済みの長野県(2018年)、大町市(2020年)と合わせ、県内の選定自治体は計4都市
- ・全国では、2018年度から2021年度までの4か年で、計124都市(うち都道府県14)が選定
- ・国は2024年度までに、累計210都市の選定を行う予定(国総合戦略のKPI)

## ◆「自治体SDGsモデル事業」とは

- ・SDGs未来都市の中から、特に先導的な取組について、国が「自治体SDGsモデル事業」として毎年10程度選定し、財政支援を行うもの。今回、長野市は選定されなかった。

## ◆長野市提案作成の視点

- ・政府の「2050年カーボンニュートラル宣言」、長野県の「気候非常事態宣言 ~2050ゼロカーボンへの決意~」を受け、本市の地域特性を活かした脱炭素社会の実現に貢献する取組を検討
- ・2021年度SDGs未来都市選定基準の一部見直しにより、新たな加点要素として追加された「カーボンニュートラルの実現に向けた取組」に対応
- ・バイオマス産業都市構想を軸に、市環境基本計画、市森林整備計画、長野地域スクラムビジョン、長期戦略2040など関連計画を整合させて内容を検討
- ・周辺市町村との連携によるSDGs推進により、長野地域連携中枢都市圏での相乗効果を目指す。



「SDGs未来都市」に選定された都市の皆様へ

令和三年度「SDGs未来都市」の選定に当たり、数多くの自治体の皆様から素晴らしい提案を頂いたことに、心から感謝申し上げます。

我が国では「SDGsアクションプラン2021」を策定し、イノベーションを通じた成長や、経済と環境の好循環の創出の実現などに向け、政府一丸となり推進しております。その大きな柱の一つが「SDGsを原動力とした地方創生」であります。

我が国が持続的に発展していくためには、次の成長の原動力であるグリーン社会の実現が重要です。このため二〇五〇カーボンニュートラルを宣言しました。SDGsの理念は、脱炭素社会の実現や新型コロナウイルス対策を通じた安心できる日々を創り上げていく上でも重要な指針であり、政府としても引き続き、自治体の皆様と共に、地域の活性化につながる持続可能なまちづくりを推進してまいります。

「SDGs未来都市」に選定された皆様の創意工夫にあふれた取組に心より敬意を表すると共に、多様な地域の特性を活かした成功事例が国内外に広く共有され、SDGsの達成と地方創生の実現に向けた大きな力となることを期待し、今回選定された自治体の全ての関係者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

令和三年五月二十一日

内閣総理大臣

菅義偉

【右上】選定証授与式(オンライン)の様子(災害対策本部室)  
【右下】首相メッセージ  
【左上】SDGs未来都市選定証

## SDGs 未来都市一覽

2018年選定(全29都市) ※都道府県・市区町村コード順				2019年選定(全31都市) ※都道府県・市区町村コード順				2020年選定(全33都市) ※都道府県・市区町村コード順				2021年選定(全31都市) ※都道府県・市区町村コード順			
都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名												
北海道	★北海道	静岡県	静岡市	岩手県	陸前高田市	滋賀県	★滋賀県	岩手県	岩手町	滋賀県	湖南市	北海道	上士幌町	岐阜県	高山市
	札幌市		浜松市	福島県	郡山市	京都府	舞鶴市	宮城県	仙台市	京都府	亀岡市	岩手県	一関市		静岡県
	二セコ町	愛知県	豊田市	栃木県	宇都宮市	奈良県	生駒市		山形県	鶴岡市	大阪府	★大阪府・大阪市	山形県	米沢市	
	下川町	三重県	志摩市	群馬県	みなかみ町		三郷町	山形県		鶴岡市		大阪府	豊中市	福島県	福島市
宮城県	東松島市	大阪府	堺市	埼玉県	さいたま市	広陵町	埼玉県	春日部市	兵庫県	明石市	茨城県	境町	愛知県	知立市	
秋田県	仙北市	奈良県	十津川村	東京都	日野市	和歌山県	和歌山市	東京都	豊島区	岡山県	倉敷市	群馬県	★群馬県	京都府	京都市
山形県	飯豊町	岡山県	岡山市	神奈川県	川崎市	鳥取県	智頭町	神奈川県	相模原市	岡山県	倉敷市	埼玉県	★埼玉県	京都府	京丹後市
茨城県	つくば市		真庭市		小田原市		日南町	金沢市	岡山県	東広島市	広島県	東広島市	千葉県	市原市	大阪府
神奈川県	★神奈川県	広島県	★広島県	新潟県	見附市	岡山県	西粟倉村	石川県	加賀市	香川県	三豊市	東京都	墨田区	兵庫県	姫路市
	横浜市	山口県	宇部市	富山県	★富山県	福岡県	大牟田市		能美市	愛媛県	松山市	東京都	江戸川区		兵庫県
	鎌倉市	徳島県	上勝町	南砺市	福津市		長野県		大町市	高知県	土佐町	神奈川県	松田町	鳥取県	
富山県	富山市	福岡県	北九州市	石川県	小松市	熊本県	熊本市	岐阜県	★岐阜県	福岡県	宗像市	新潟県	妙高市	愛媛県	西条市
石川県	珠洲市	長崎県	吉崎市	福井県	鯖江市	鹿児島県	大崎町	静岡県	富士市	長崎県	対馬市	福井県	★福井県	熊本県	菊池市
	白山市	熊本県	小国町	★愛知県	名古屋市		沖縄県	恩納村	愛知県	岡崎市	鹿児島県	鹿児島市	長野県		長野市
長野県	★長野県	愛知県	名古屋市	愛知県	名古屋市	三重県	★三重県	三重県	いなべ市	沖縄県	石垣市	岐阜県	岐阜市	沖縄県	★沖縄県

※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体  
 ※★はSDGs未来都市のうち都道府県

 : 長野県内自治体

## <計画策定>

- ・SDGs未来都市計画策定や計画期間(3カ年)の進捗に係る有識者からの意見、技術的なフォローアップ
- ・自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援(評価・アドバイス等)

## <事業構築>

- ・市民や企業などの巻き込み、連携の後押しとなり、効果的なSDGs事業構築を実現

## <財政支援>

- ・SDGs未来都市計画に位置付けられた事業は、内閣府の地方創生推進交付金(補助率1/2)の申請事業数の上限(長野市は原則7事業)枠外として、**1事業追加**で申請可能
- ・SDGs未来都市のうち、特に先導的な取組を行う10都市について「自治体SDGsモデル事業」として、財政支援(定額補助上限1,700万円+定率補助(1/2)上限1,000万円)

## <都市力向上>

- ・都市のブランド力、プレゼンスの向上
- ・SDGsを推進する都市として、対外的なPR強化(移住・定住、ビジネス、企業誘致などへも好影響)
- ・他のSDGs未来都市との連携強化  
ex.「北陸SDGs未来都市サミット」石川県金沢市、白山市、富山県南砺市、福井県鯖江市など



計画期間  
2021—2023

# 長野市SDGs未来都市計画 (素案)

概要版



長野市 × 信州大学  
長野市耕作放棄地帯における  
ソルガム活用調査研究事業  
信州ソルガムで  
地域を元気に健康に!



2021年7月  
長野市



## ● 森林と防災

- ・平成の市町村合併による市域拡大(中山間地域)
- ・長野地域連携中枢都市圏の豊富な森林資源
- ・適切な森林マネジメントによる保全と活用
- ・「令和元年東日本台風」被災の教訓とゼロカーボンへの決意

## ● 市民特性

- ・家庭ごみの8分別収集、生ごみ堆肥化
- ・家庭ごみ総量と市民一人当たり排出量はH15年をピークに減少傾向
- ・善光寺門前リノベーション(古民家活用と若者)
- ・環境を理念とした1998年長野冬季オリンピック・パラリンピックの遺産

## ● 産業特性／バイオマス産業都市構想

- ・食料品製造業が盛ん
- ・バイオマス資源(間伐材、おが粉、食品加工残さ、きのこ廃培地など)の有効活用策
- ・民間事業者のバイオマス関連の設備投資(木質バイオマス発電所、バイオブリケット(固形燃料)化設備、バイオガス化発電施設など)の動き
- ・バイオマス産業都市構想(R3年度策定)



## 【計画全体のタイトル】

誰もが自分らしく活躍できる活気に満ちた長野圏域の創造  
～環境共生都市「ながの」の実現～

## 【2030年のあるべき姿（目指す将来像）】

## 環境共生都市「ながの」の実現

自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る「産業」を、持続可能な形で、創造又は再構築する。

## 【目標】

## (1) 循環型社会の実現

- ・「端材」、「おが粉」、「間伐材」、「パーク(樹皮)」、「果樹剪定枝」など木質バイオマス資源を、再生可能エネルギーとして活用する。
- ・食料品製造業などから発生する「食品廃棄物」を廃棄物系バイオマス資源として、電力や飼料などで有効活用する。
- ・きのこ収穫後の「廃培地」を、肥料化、燃料化、飼料などで有効活用する。
- ・以上の取組みにより、**廃棄物の発生を抑制し、環境への負荷が少ない持続可能な循環型社会の形成**を目指す。

## (2) 豊かな自然環境の保全と持続可能な活用

- ・市域の約63%を占める**森林の公益的機能**(水を蓄える、土砂の流出を抑える、二酸化炭素を固定する、安らぎの場など)を維持し、**質の高い森林環境を健全な形で保全**していく。
- ・木材利用を目的とする森林(**人工林**)については、所有者や境界、樹種などの**基礎データを把握**し、生産から最終消費者に渡るまでの価値連鎖(バリューチェーン)を踏まえて、**情報やデータを統合・運用**するなど、**官民一体の適切な森林管理体制の構築**を目指す。

### (3) 脱炭素社会の構築と地域経済への波及

- ・バイオマス発電、太陽光発電、小水力発電など地域の特性に合った**再生可能エネルギー**を積極的に導入し、2050年までに二酸化酸素の排出量を実質ゼロにする**「脱炭素社会の実現」**に貢献する。
- ・木質バイオマスについては、**「木質バイオマス利用地域モデル事業」**など市内で先進的に取り組む**地区の仕組みを検証、発展**させ、他地域にも展開する。
- ・**デジタル化**など新たな視点からの取り組みを進め、**地域の林業や周辺産業への好循環**を目指す。

### (4) 連携強化と人づくりの推進

- ・**令和元年東日本台風**の被災から学んだ**教訓**、**「環境共生都市」**のビジョンを市民や関係者と共有し、連携を強化していく。
- ・**森林オーナー**の森林への理解と関心を高める。
- ・林業事業体の従事者など**林業の担い手**を、**長期的な視点**で育成する。
- ・未来を担う**若者や子どもたち**に向けて、SDGs視点での**森林教育**や**森林作業体験**、**観光とのコラボ**などの機会をつくり、森林への関心・理解の向上を図る。
- ・**連携中枢都市圏を構成する市町村との連携・協働**により、目標を達成していく。

### (5) SDGs理解の促進と情報発信

- ・関係者間で、全体ビジョンや各取組みの**意義を理解**し、**情報共有**など連携を強化し、具体的な行動につなげる。
- ・基本理念の一つに環境保全を掲げた1998年の**長野冬季オリンピック・パラリンピック開催地としての財産を次世代につなぐ**視点をもつ。
- ・**都市ブランディングの一環**で、戦略的に国内外に向けて情報発信し、理解者、協力者を増やしていく。

全体タイトル

誰もが自分らしく活躍できる活気に満ちた長野圏域の創造～環境共生都市「ながの」の実現～

2030年のあるべき姿

環境共生都市「ながの」の実現

～自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る「産業」を、持続可能な形で、創造又は再構築する～

自治体SDGsに資する取組

① バイオマス産業の振興

② 森林マネジメント体制の確立

③ 再生可能エネルギー利活用の推進

④ 未来を担う人材育成

⑤ SDGs理解の促進

特に注力する先導的取組

長野地域バイオマス共生圏の構築

三側面をつなぐ統合的取組

森と樹と暮らしのエコシステム  
～エコロジーとエコノミーの好循環～

- ・製材おが粉を利用した木質ペレットの製造プロジェクト
- ・複数バイオマス資源のバイオブリケット化プロジェクト
- ・木質バイオマス資源の収集システム
- ・バイオマス利活用促進事業
- ・きのこ廃培地の堆肥化による循環型農業の推進
- ・バイオマス・脱炭素関連分野の調査・研究

- ・林業DX推進（森林管理システム）
- ・林業DX推進（森林作業・森林状態の見える化）
- ・地域産木材の需給管理の推進
- ・木材の需要創出・利用拡大の検討

- ・地元NPOによる薪活プロジェクト
- ・持続可能な「奥裾花自然園」活用（森林資源×再エネ×観光）
- ・私有林の間伐促進
- ・林福連携による里山整備
- ・スマートハウス化応援隊事業

- ・森林オーナー学習会
- ・フォレストワーカーフォローアップ
- ・SDGs環境・森林教育プログラム
- ・サステナブルツーリズム（SDGsに貢献する観光）
- ・起業家創出プログラムin東京
- ・企業とのコラボレーションによる森林整備促進

- ・バイオマス利活用キャンペーン
- ・林業イメージアップ
- ・SDGs推進のための調査・研究事業

<関連計画>

- ・第二期長野地域連携中枢都市圏ビジョン(R3.4)
- ・長期戦略2040(R2.5)
- ・スマートシティNAGANO基本計画(R3.10)
- ・第五次長野市総合計画後期基本計画(R4.4)
- ・長野市森林整備計画(R2.2)
- ・第三次長野市環境基本計画(R4.4)
- ・長野市バイオマス産業都市構想(R3.6)

- ・薪・ペレットストーブと木質ペレット・ブリケット利用促進プロジェクト
- ・剪定枝を利用した発電事業プロジェクト
- ・きのこ廃培地の利活用拡大（メタン発酵事業、家畜飼料化、バイオブリケット化、再生培地化）
- ・食品廃棄物によるメタン発酵事業
- ・食品廃棄物の回収、リサイクルシステム
- ・下水汚泥等の活用

- ・権利者への意向アンケート調査
- ・長野市森林経営管理計画の策定
- ・森林管理適正化

- ・ソルガム活用の発展・展開
- ・脱炭素化推進連携創出事業
- ・ゼロカーボンマスタープラン策定
- ・市有施設での再生可能エネルギー設備導入
- ・再生可能エネルギーグループ購入促進事業
- ・中心市街地遊休不動産活用事業
- ・電気自動車(EV)活用PR・普及促進

- ・基礎から学ぶ趣味の林業講座
- ・フォレストワーカー育成事業
- ・森林の総合利用の推進
- ・スタートアップ企業成長支援事業

- ・都市ブランディング
- ・フィンランドトゥルク市との交流事業
- ・SDGs動画コンテスト
- ・SDGs講演会
- ・ながのSDGsだより
- ・長野地域SDGs推進コンソーシアムの設置



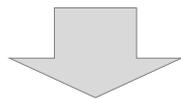
事業名: 長野地域バイオマス共生圏の構築

概要

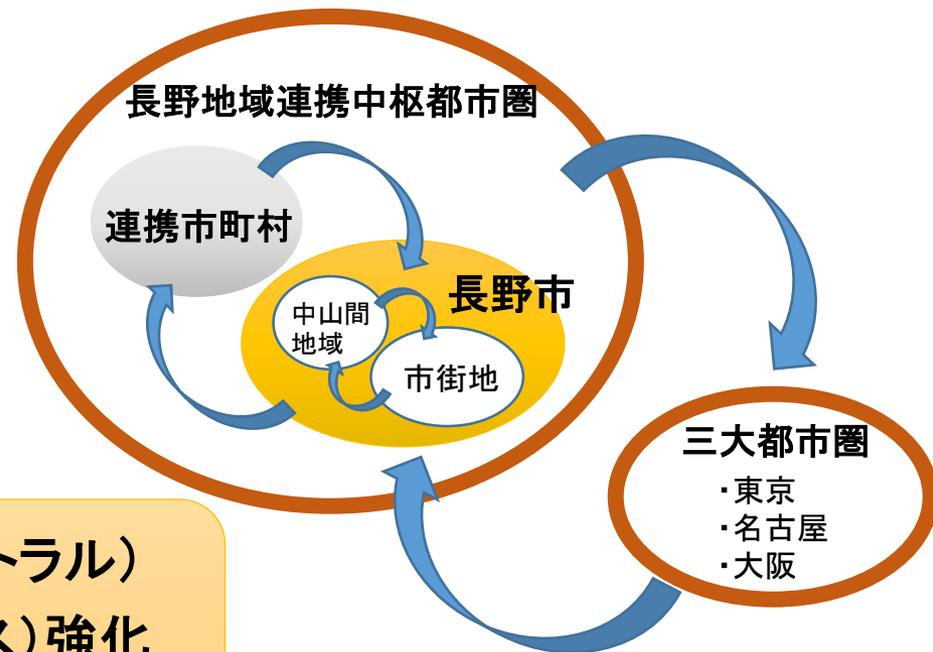
- 圏域の森林資源、きのこや果樹の栽培、食品製造業の多さなどの特性を活かし、木質及び廃棄物系バイオマス資源の活用により、廃棄物を抑えた環境負荷の少ない持続可能な循環型社会を目指す。
- 森林の持続的な保全と活用マネジメントを行い、ゼロカーボンへの貢献と地域内経済循環による長野圏域の活性化を実現する。

課題

- 人材・担い手育成
- 都市部と農村部間の良好なつながり
- バイオマス資源の有効活用の仕組み構築

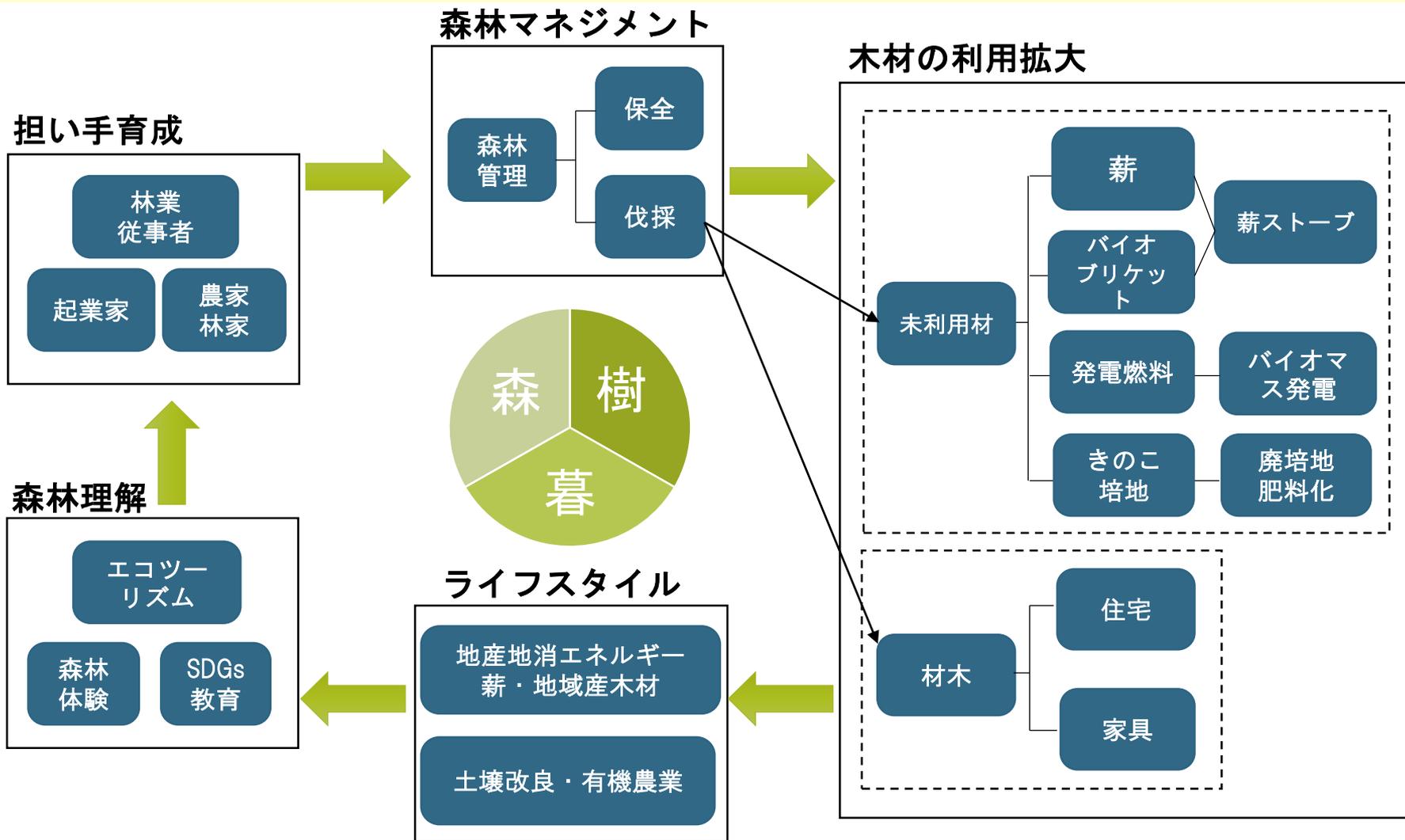


- ✓ 脱炭素社会への貢献(カーボンニュートラル)
- ✓ 自然災害に対する強靱性(レジリエンス)強化
- ✓ 地域内経済循環による圏域の活性化



## 事業名： 森と樹と暮らしのエコシステム ～エコロジーとエコノミーの好循環～

- 森林マネジメントを構築し、未利用材をバイオマス資源として電力・熱や固形燃料で再利用する。
- 再エネ活用や地域産木材による住宅を促進し、地産地消エネルギー、薪のある暮らしなど暮らし方の転換を図る。
- エコツーリズムや森林教育で関係者の理解を深め、担い手を育成し、環境と経済が好循環するエコシステムをつくる。



経済

- ・エコツーリズムや作業体験などSDGs観光コンテンツの成立
- ・起業家や企業による次世代林業のビジネス創出

社会

- ・里山の景観、防災など国土保全
- ・中山間地域の過疎化の歯止め
- ・持続可能なライフスタイル関心層などの移住促進



経済

バイオマス資源の有効活用

- 製材で生じたおが粉や端材を利用した固形燃料などの製造
  - きのご廃培地の堆肥化
  - 木質バイオマス資源の収集システム
  - スマートハウス化 など
- 8 質の高いエネルギーを消費する
- 9 持続可能な消費と生産
- 12 つくばず減らす

廃棄物の削減  
ゼロカーボンへの貢献

地域内経済循環の促進

森と樹と暮らしの  
エコシステム  
～エコロジーとエコノミーの  
好循環～

持続可能な  
森林マネジメントの確立

環境

- 林業DX（森林管理システム）
  - 林業DX（森林作業・森林状態の見える化）
  - 木材の需要創出・利用拡大の検討
  - 地域住民・NPO・企業との協働による森林整備・薪づくり など
- 7 持続可能なエネルギー
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさを保ち増進する



社会

人材育成とSDGs理解の促進

- 森林オーナー学習会
  - フォレストワーカーフォローアップ
  - SDGs環境・森林教育プログラム
  - バイオマス利活用キャンペーン など
- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 持続可能な住居とコミュニティ
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

森林の公益的機能保持

多様な担い手の創出



経済

- ・おが粉や端材、きのご廃培地など未利用資源を活用した付加価値創出、生産の拡大
- ・林業DX推進による林業の再興、関連産業を含めた雇用の拡大
- ・スマートハウス施工による地元事業者の業務増、地域内経済循環の促進

環境

- ・バイオマス燃料利用による域外からの化石燃料購入費削減、地域循環資金へ
- ・バイオマス燃料利用、スマートハウス化による二酸化炭素排出量の削減
- ・バイオマス利活用による産業廃棄物の削減

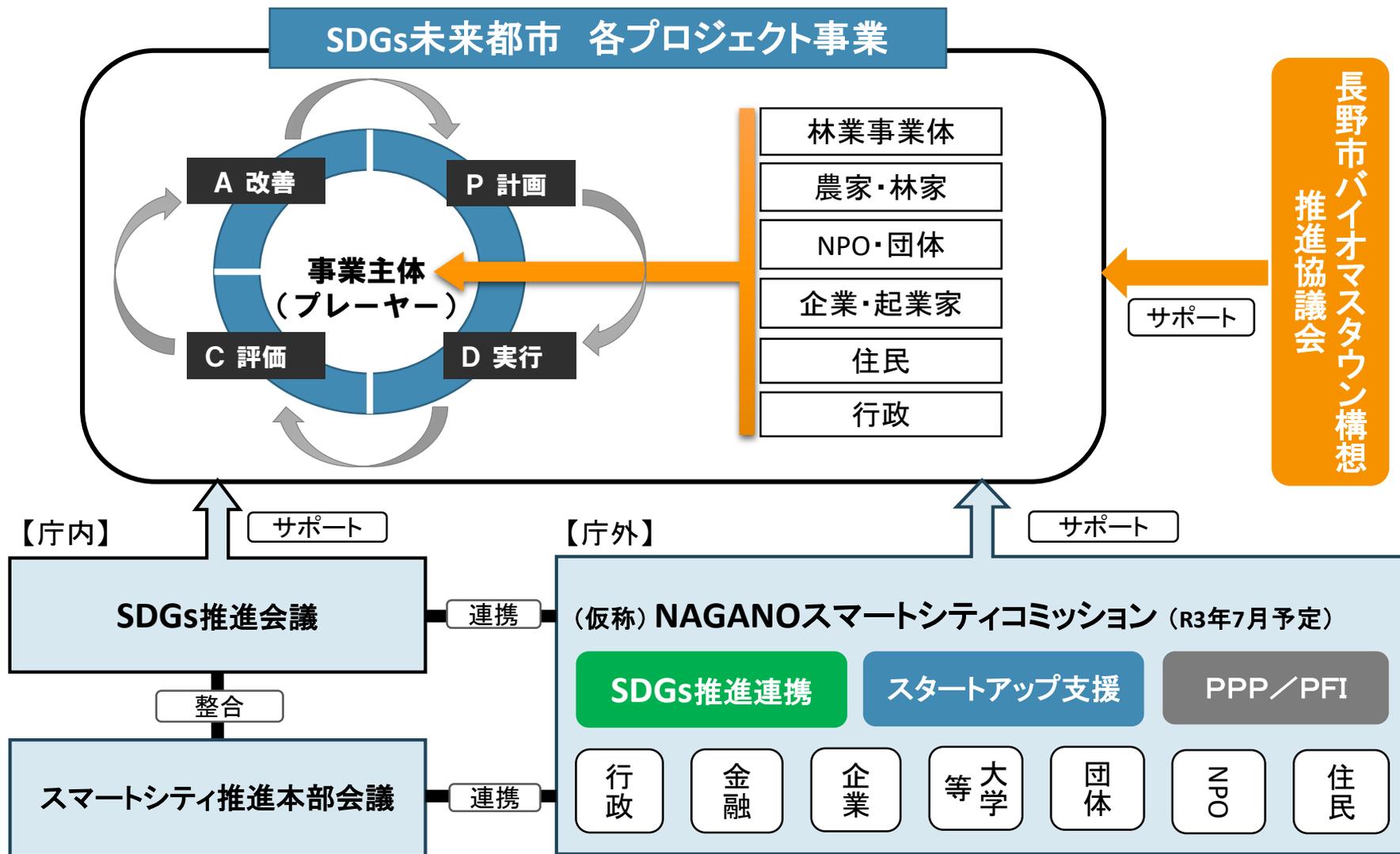
社会

- ・子どもや若者に向けたSDGs教育の取組みにより、未来の人材を育成
- ・森林所有者の森林への関心を高め相続登記の放置、所有者不明土地の増加を防ぐ。
- ・林業事業者、自伐型林家など多様な担い手の創出

環境

- ・持続可能な森林管理体制を構築し、脱炭素社会の実現に向け貢献
- ・森林の公益的機能が保持され、自然災害の被害軽減

事業スキーム



**#Smart City NAGANO**  
 ~市民と創る最高のまちづくり~

## 今後のスケジュール(予定)

R2年度		
3月1日	「長野市SDGs未来都市」提案書 申請	
R3年度		
4月16日	ヒアリング(国へプレゼン)	
5月21日(金) 15:30～16:00	令和3年度「SDGs未来都市」選定証授与式(オンライン)	決定・公表
5月下旬～	提案書を基に長野市SDGs未来都市計画策定作業開始	
6月中旬	国へ計画(素案)提出 ⇒国の検討会、各省庁へ意見照会	
7月2日～20日	長野市SDGs未来都市計画(素案)パブリックコメント実施	広報ながの7月号掲載
7月7日	定例記者会見(パブコメ、SDGs講演会について)	
7月中旬	国へ計画(案)提出 ⇒国の内容確認	
7月29日	庁議	計画決定・公表
	SDGs講演会	

- パブコメ期間 令和3年7月2日(金)～20日(火)
- 閲覧場所 企画課、行政資料コーナー、各支所
- 応募方法 7月20日(火)【消印有効】までに、所定の用紙(各閲覧場所に置く)に必要事項を記入のうえ、直接、郵送、ファクス、Eメール、市ホームページ「ながの電子申請サービス」のいずれかで、企画課へ提出